

日本地震学会 2018 年度秋季大会のおしらせ (第 3 報)

大会・企画委員会, 郡山大会 LOC

日本地震学会 2018 年度秋季大会を下記の通り開催致します。発表を行うためには、オンラインシステムにおける講演申込みと予稿原稿 (PDF ファイル) のアップロード, 投稿料の支払い及び秋季大会への参加登録が必要です。2. の投稿要領および 5. の参加登録についてよくお読みの上, お申込みください。

1. 秋季大会の日程・場所

日程: 2018 年 10 月 9 日 (火) ~10 月 11 日 (木) 3 日間

場所: ビッグパレットふくしま <http://www.big-palette.jp/index.html>

(〒963-0115 福島県郡山市南二丁目 52 番地, JR 郡山駅から所要時間約 15 分(バス))



*大会中はバスの増便を計画しております。



2. 講演申込, 予稿原稿作成・投稿要領

講演申込, 予稿投稿, 投稿料の決済はオンラインシステム上で行います. 投稿・参加申込みサイト (<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>) からアクセスしてください. 郵送や FAX による講演申込や予稿投稿は受け付けませんのでご注意ください.

講演申込開始 2018年6月27日(水)正午(JST)

講演申込締切 2018年7月18日(水)正午(JST)

(予稿投稿, オンライン決済含む)

- ・ 講演申込の開始および締切日時はシステムの都合により変更される場合があります. 変更する場合は, 日本地震学会秋季大会ホームページ (<http://www.zisin.or.jp/>) 上でお知らせします.
- ・ 講演申込締切日時以降は, 申込みの取り消しや訂正ができなくなります.
- ・ 投稿料は講演申込みと同じシステムにて, クレジットカード決済によりお支払いいただきますようお願いいたします.
- ・ 投稿料のお支払い手続きの完了していない講演申込は“未決済”扱いとなり, 講演申込締切日時に“未決済”の投稿は取り消されます. 必ず締切日時までに投稿料のお支払いをお済ませください.

2-1. 投稿料

講演申込1件につき3,000円(税込み)

(ただし, 非会員による特別セッションの招待講演は無料)

2-2. 講演申込(予稿投稿を含む)の方法

- ・ 講演申込と同時に予稿原稿ファイル(1MB以内のPDF)を投稿して頂きます. ファイルをご用意の上, 申込手続きを行ってください.
- ・ 申込みが正常に受け付けられると, 申込み時に指定したE-mailアドレスに申込完了メールが送信されます.
- ・ 講演申込みの取り消しや訂正, 予稿ファイルの変更も, 申込締切日時まではシステム上で行えます.

2-3. 予稿原稿作成方法

- ・ 予稿原稿は, 後述の書式に従ってPDFファイル(1ページ, 最大1MB)を作成して下さい. 英文の題目・氏名・所属も忘れずに記入して下さい.
- ・ 予稿原稿に図・写真を入れる場合には, 最終的なファイルサイズ(最大1MB)にご注意下さい.

2-4. ホームページアドレス

- ・ 日本地震学会秋季大会
<http://www.zisin.or.jp/>
- ・ 投稿・参加申込みサイト
<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>

3. 講演種目

発表を希望するセッションは以下の一般セッション・特別セッションの中から選んで下さい。発表件数によっては、複数のセッションをまとめて構成する場合があります。

【一般セッション】

(S01) 地震の理論・解析法, (S02) 地震計測・処理システム, (S03) 地殻変動・GNSS・重力, (S04) テクトニクス, (S05) 地球熱学, (S06) 地殻構造, (S07) 地球及び惑星の深部構造と物性, (S08) 地震発生の物理, (S09) 活断層・歴史地震, (S10) 地震に伴う諸現象, (S11) 岩石実験・地殻応力, (S12) 地球化学・地下水, (S13) 地震予知・予測, (S14) 強震動・地震災害, (S15) 地盤構造・地盤震動, (S16) 津波, (S17) 地震教育・地震学史, (S18) 地震一般・その他, (S19) 学会各賞受賞講演会

【特別セッション】

(S20) 伝える・伝わる地震学 [コンビーナ: 根本泰雄・平松良浩・中川和之]

日本地震学会の使命の一つは地震学の知識の普及にある。どの様な知識を伝えることができるか? どの様に伝えるのか? どの様な知識が求められているのか? について、招待講演及び一般講演を通じて議論する。

(S21) 地震波・地震動の理論と解析50年 [コンビーナ: 額額一起・竹中博士・古村孝志]

1970 年前後から急速に発展した地震波・地震動の理論と解析の 50 年を振り返るとともに、今後の展望を議論する。

(S22) 2011年東北地方太平洋沖地震の地震学—7年間の成果 [コンビーナ: 日野亮太・松澤暢・小平秀一]

2011 年東北地方太平洋沖地震から 7 年余り、地震学はこの地震とそれに伴う津波の発生メカニズム、本震発生に至る過程、地震後の広域・大規模な変動現象の解明に力を尽くしてきた。また、地震後の変動現象を東北日本弧の大規模擾乱に対する応答と捉えることにより、そこから島弧全体のレオロジー構造や海陸両プレート内の断層挙動の理解が大幅に進みつつある。東北地方での地震学会開催を機に、これらの研究の現在の到達点を概観し、さらなる研究進展につなげたい。

(S23) 地震活動とその物理 [コンビーナ：波多野恭弘・麻生尚文・堀高峰]

幅広い時空間スケールにまたがる地震活動（スロー地震を含む）の現象論的側面の研究はもちろん、その物理的理解を深めるための実験的あるいは理論的研究と観測研究の融合、統計モデルや力学モデル、データ駆動型科学等を用いた地震活動の再現や予測の研究を歓迎する。

（※従来、一般セッションとして開催されていた「地震活動」セッションへ投稿を予定されていた方は、本セッションにご投稿ください。）

4. 講演申込に関する注意

- ・ 2018年度秋季大会の講演申込みの採択ならびにプログラム編成に関することは、大会投稿規則に基づいて行います。
- ・ 特別セッションの招待講演を除き、発表できるのは日本地震学会の正会員（一般・学生）と名誉会員のみです。発表を希望される非会員の方は、至急入会手続きをお取り下さい。日本地震学会への入会手続きは、「入会のご案内 (URL: <http://www.zisin.jp/info/admission01.html>)」をご覧ください。
- ・ 講演方法は「口頭もしくはポスター」「ポスター」のいずれかを選択することになります。「口頭もしくはポスター」を選択した場合は、大会・企画委員会で講演方法を決定します。同一人による発表は2件まで（うち口頭発表は1件まで）とします。ただし、招待講演はこれに含めません。
- ・ 招待講演の申込みを行う際には、コンビーナからの指示に従ってください。
- ・ 講演申込が不採択となった場合は、8月6日（月）までに、その理由とともに登録されたE-mailアドレスに連絡致します。この際不服がある場合は、日本地震学会理事会に申し立てを行うことができます。不服申し立ての期限は、通知から72時間とします。
- ・ プログラム編成は大会・企画委員会が行います。発表方法（口頭・ポスター）や発表を希望するセッションのご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 口頭発表は4会場で行います。発表時間は質疑を含めて1件につき15分の予定ですが、講演申込数によっては変更することがあります。
- ・ 口頭発表会場では、パソコン接続用のPCプロジェクター1台が使えます。
- ・ ポスター板の大きさは、例年と異なり、縦90cm、横180cmです。
- ・ 締切後に被害地震が発生した場合などは、速報発表を受け付けることがあります。その場合は、日本地震学会秋季大会ホームページ (<http://www.zisin.or.jp>) でご案内します。

5. 参加登録

大会への参加には参加登録が必要となります。

会員の皆様には事前参加登録（オンラインシステムによるクレジットカード決済）にご協力をお願いいたします。事前参加登録をされると以下のメリットがあります。(1) 当日の受付がスムーズに進みます, (2) 当日参加登録よりも参加登録料が安くなります, (3) 予稿集（電子版）のダウンロードパスワードが事前に連絡されます, (4) 年会費を納入済みの方には名札と領収証が事前送付されます。システムでの事前参加登録の方法は後述の案内を参照してください。

2018年度より, シニア（2018年4月1日現在, 70歳以上の正会員もしくは名誉会員）の大会参加登録料を新設しました。ただし非会員のシニアはこの措置の対象となりません。

5-1. 参加登録料

正会員

一般（学生会費適用会員を除く）

事前参加登録 8,000 円

当日参加登録 10,000 円

学生会費適用会員（大学院生）

事前参加登録 4,500 円

当日参加登録 5,500 円

学生会費適用会員（学部生以下）

事前参加登録 3,500 円

当日参加登録 無料（予稿集は含まない）

予稿集代金 3,500 円

シニア（2018年4月1日現在, 70歳以上の正会員もしくは名誉会員）

事前参加登録 4,500 円

当日参加登録 5,500円

賛助会員（当日登録のみ）

当日参加登録 12,500 円

非会員（当日登録のみ）

一般

当日参加登録 15,000 円

（特別セッションの招待講演者は無料）

大学院生

当日参加登録 10,000 円

学部生以下

当日参加登録 無料（予稿集は含まない）

予稿集代金 5,000 円

大会には参加せず、予稿集の閲覧のみを希望する場合は、以下の代金で閲覧パスワードを販売いたします。パスワード購入希望の方は、下記の事項を明記して地震学会事務局まで電子メールでお申し込み下さい。なお、CD等記録媒体とともに購入をご希望される方は追加実費1,000円で申し受けます。

- ・購入者氏名・住所・電話番号・E-mailアドレス
- ・お支払い方法 郵便振替もしくは請求書発行（銀行振込）

申込み・問合わせ先

日本地震学会事務局

E-mail : zisin(at)tokyo.email.ne.jp

正会員・名誉会員・学生会費適用会員 3,500 円

賛助会員 3,500 円

非会員 5,000 円

※大会参加登録料・予稿集代はすべて税込み価格です。

5-2. 事前参加登録期間

事前参加登録開始 2018年6月27日（水）正午（JST）

事前参加登録締切 2018年9月5日（水）正午（JST）

（事前参加登録料の支払い完了期限）

5-3. 投稿・参加申込サイト

<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>

5-4. 参加登録に関する注意

- ・ 事前参加登録をして頂いた会員には、予稿集ダウンロードのためのURLとパスワードがプログラム公開と同時期に連絡されます。大会期間前にダウンロードしていただくことをお願いいたします。当日参加登録の場合は受付で参加登録料と引き換えにお知らせします。
- ・ 事前参加登録をして頂いた会員で、事前参加登録締切までに年会費を納入済みの方には、名札と領収証が事前に送付されます。受付を通らずに入場できますが、会場では

必ず名札を着用してください。

- ・ 郵送された領収証の様式に問題がある場合には、必ず郵送された領収証を持参の上、受付までお越しください。
- ・ 参加登録料に懇親会費は含まれません。
- ・ 賛助会員及び非会員の方の事前参加登録は行いませんので、会場にて当日参加登録を行ってください。

6. 会議室等の使用申込について

大会期間中に集会や打ち合わせのために会議室の使用を希望される方は、下記の事項を明記して下記担当者まで電子メールでお申込み下さい。締切は9月7日（金）とします。

なお、使用できるのは昼休み及び講演終了後から20時までです。また、日本地震学会に関連する会合以外の集会等については、会議室使用料をお支払い頂くことになります。詳細は別途お問い合わせください。

- ・ 使用団体名・使用目的
- ・ 申込み責任者（日本地震学会員に限ります）氏名，所属，E-mailアドレス，電話番号，FAX 番号。
- ・ 使用希望日時
他団体と使用希望日時が重なった場合、調整が必要となる場合がありますので、第2希望まで記入して下さい。
- ・ 参加予定人数
- ・ 特に必要な器材

申込み・問い合わせ先

E-mail： ohtani.m(at)aist.go.jp

（担当：産総研 大谷真紀子）

7. 団体展示について

学会員へのPRの場となることが期待できますので奮ってご利用ください。出展を希望される企業・団体は8月10日（金）までに担当者までお申し込みください。展示小間は、背面のポスター板（W180cm×H210cm）と長テーブル（W180cm×D60cm×H70cm）が標準仕様です。申込時には、おおまかな消費電力量をお知らせ下さい。

申込み・問い合わせ先

E-mail： yarai-h96rq(at)mlit.go.jp

（担当：国土地理院 矢来博司）

8. 託児について

日本地震学会では、大会期間中の託児室開設と利用料金の補助を検討しています。託児を希望される方は、9月25日（火）までに下記世話人までご連絡ください。申込状況により、開設の有無を決定し、ご連絡いたします。

担当： 内田直希 (naoki.uchida.b6(at)tohoku.ac.jp)

北佐枝子 (kita(at)kenken.go.jp)

9. 学会各賞受賞記念講演

「若手学術奨励賞」を始め、学会賞の受賞者による受賞記念講演を予定しています。詳細は大会プログラムとともにご案内します。

10. 学生優秀発表賞

本賞は、学生による優れた研究発表を奨励し、研究発表技術の向上を目指すために設けている賞で、対象は「日本地震学会秋季大会において発表者として研究発表を行い」、かつ「審査対象となることを希望した学生正会員」です。口頭発表、ポスター発表、どちらも対象になります。

予稿採択時点で、今年度の学生会費適用申請書が日本地震学会事務局に提出されていることが必要条件となります。審査対象となることを希望するには、投稿する際に学生優秀発表賞の「審査を受けることを希望する」のボタンを選択していただきます。昨年度以前に同賞を受賞した学生は、今年度の授賞対象外となります。本賞に関する規定・選考基準は秋季大会ホームページをご覧ください。

11. 一般公開セミナー

今回の大会開催に合わせて、10月8日（月）に「地震の教室」と「一般公開セミナー」を郡山市中央公民館において開催します。地震の教室では親子向け教室と学校教員向け教室を開催します。一般公開セミナーでは、「甚大な地震津波被害を繰り返さないために～私たちが出来ること」と題して、長谷川昭氏（東北大学）、宍倉正展氏（産総研）、臼田裕一郎氏（防災科研）、熊田重美氏（郡山市）による講演を予定しています。

12. 予稿集の電子化

- 2016年秋季大会より日本地震学会講演予稿集が電子化されました。事前参加登録して頂いた会員には、予稿集ダウンロードのためのURLとパスワードがプログラム公開と同時期に連絡されます。会場のネットワーク環境やダウンロード・サーバーの負荷を考慮いただき、大会期間前にダウンロードいただきますようお願い致します。
- 配布方法：秋季大会ホームページより、ファイルをダウンロード

- ・ 公開範囲：大会参加者にURLとパスワードを送付
- ・ 配布期間：1年間
- ・ 電子予稿集は一年後にパスワードを解除して一般公開されます

13. その他

- ・ プログラムは秋季大会ホームページ上のみの公開（9月中旬）と致しますのでご了承下さい。
- ・ 日本地震学会の年会費を未納の方は、9月5日（水）までに会費を納入して下さい（事前参加登録締切と同日です）。大会会場でも会費納入を受け付けますが、混雑が予想されますので前もって納入頂きますようお願い致します。
- ・ 懇親会は大会2日目の10月10日（水）の夜に「郡山ビューホテルアネックス」で開催を予定しています。

14. 問い合わせ先など

- ・ 大会全体に関すること
大会・企画委員会
E-mail : ssj-program@tokyo.email.ne.jp
委員長 : 大林政行 (JAMSTEC)
- ・ 講演申込や予稿投稿に関すること
E-mail : web-system@tokyo.email.ne.jp
- ・ 日本地震学会ホームページアドレス
<http://www.zisin.jp/>
- ・ 日本地震学会秋季大会ホームページアドレス
<http://www.zisin.or.jp/>

公益社団法人日本地震学会大会投稿規則

2010. 4. 7 制定

2011. 6. 10 改正

2015. 6. 10 改正

(予稿原稿作成)

1. 予稿原稿の形式等に関しては、和文会誌「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従うこと。

(講演申込・予稿投稿)

1. 講演申し込み、予稿投稿は、大会・企画委員会が準備するWEBページを通じて行うこと。WEBによる講演申し込み、予稿投稿が難しい場合には、大会・企画委員会まで問い合わせること。
2. 予稿投稿は、原則として筆頭著者または発表者が行う。投稿に際しては、全ての共著者の了承を得ていること。なお、大会・企画委員会の了解がある場合を除いて、著者以外による代理投稿は認めない。
3. 特別セッションの招待講演を除いて、発表者は日本地震学会の正会員（一般・学生）、または名誉会員であること。
4. その他、同一人による発表制限数等は、「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従うこと。

(投稿料)

1. 講演申し込み者は「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従い、別に定める投稿料を支払うこと。招待講演者も投稿に際して投稿料を支払うものとする。ただし、招待講演者が非会員である場合は、大会・企画委員会の決定に従うこと。

(大会参加登録)

1. 発表者は「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従い、大会参加登録をしなければならない。このため、別に定める大会参加登録料を支払うこと。招待講演者も大会参加登録料を支払うものとする。ただし、招待講演者が非会員である場合は、大会・企画委員会の決定に従うこと。

(採択・プログラム編成)

1. 講演申し込みの採択は、大会・企画委員会で決定する。以下の場合など、発表に不適切な内容と判断される場合には、発表論文が不採択となる場合がある。
 - ・ 申込内容や予稿原稿の形式に著しい不備がある場合
 - ・ 発表内容が大会およびセッションの趣旨と大きく異なると判断される場合

- ・発表内容が科学的に不適切、あるいは予稿としての体裁が整っていないと判断される場合

- ・発表内容が社会倫理上、不適切と判断される場合

- ・発表の場を確保するなどの目的で、他人名義（ダミー）など虚偽を含む投稿がなされたと判断される場合

なお、軽微な不備については、記録を残した上で採択する。但し、軽微な不備が複数回に及ぶ場合は、不採択となる場合がある。

2. 講演申し込みが不採択となった場合には、大会・企画委員会から投稿者に対して理由を附して通知する。この場合、投稿料は返却する。
3. 不採択の理由を不服とする場合には、日本地震学会理事会に対して再審査を申し立てることができる。
4. 大会・企画委員会の判断により、投稿者の希望とは異なるセッションや発表形態（口頭またはポスター）で採択する場合がある。
5. プログラム編成は、大会・企画委員会が行う。

（採択後の変更・キャンセル）

1. 採択後に筆頭著者あるいは発表者および発表タイトルを変更することは原則として認めない。やむを得ない変更・訂正がある場合は早急に大会・企画委員会まで連絡すること。
2. 病気等やむを得ない事情で発表をキャンセルする場合は、速やかに大会・企画委員会に連絡すること。この場合、既に納められた投稿料及び大会参加登録料は返却しない。
3. 発表日時の変更や発表形態の変更は、大会・企画委員会が必要と判断した場合以外には認められない。

（改廃）

1. この規則の改廃は、大会・企画委員会の決議による。

講演申し込み（予稿投稿を含む）・投稿料のお支払い方法

1. 講演申込・投稿料のお支払い手続き

投稿・参加申込みサイトからオンラインシステムにアクセスして講演申込および投稿料のお支払い手続きを行ってください。

<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>

受付期間：7月18日（水）正午（JST）まで

2. 申込の方法

講演申込並びに予稿の投稿は、オンラインシステムを利用して行います。投稿料のお支払い手続きも同じシステムを利用して行います。講演申込を始める前に、次ページの書式に従って予稿原稿のPDFファイルをご用意下さい。手書きの予稿原稿は認めません、手書き原稿をPDF化されていた場合でも同様です。

2009年度以降、システムを用いて講演申込をされた方は、その際に利用したID（登録E-mailアドレス）とパスワードで講演申込・投稿料支払い手続きが出来ます。それ以外の方は、新規ユーザー登録を行ってください。

新規ユーザー登録に必須の入力項目は、氏名、氏名（ローマ字）、所属、郵便番号、住所、E-mailアドレス、電話番号、会員区分です。登録されたE-mailアドレスにパスワードが送られます。講演内容の変更や予稿ファイルの差し替え、別の講演の申込等の際にパスワードが必要です。事前参加登録を行う場合にも、同じID（登録E-mailアドレス）とパスワードをお使い下さい。

パスワードを忘れた場合には、ログイン画面の「パスワード問い合わせ」ボタンからお問い合わせください。

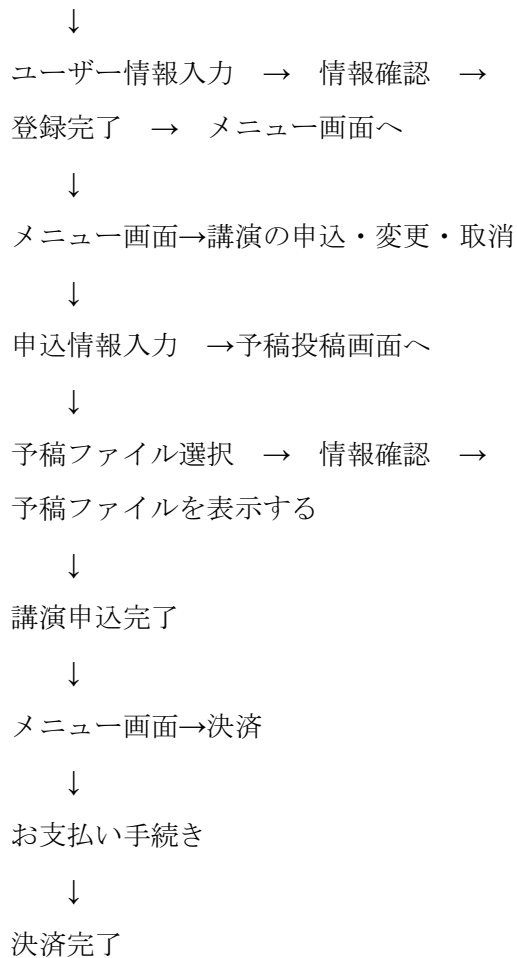
投稿料は、原則としてシステムを利用したクレジットカードでのお支払をお願い致します。

（手順）

- 1) WEBブラウザを立ち上げ、上記のサイトに接続して下さい。
- 2) 表示されたページの説明をよく確認して下さい。
- 3) 表示されたページの「事前参加登録・講演申込WEBシステム」をクリックして下さい。
- 4) 講演申込（予稿投稿）手続きの流れは以下の通りです。ブラウザの「戻る」等は用いず、システム内に用意されたボタンをお使い下さい。

5)

ログイン画面→新規ユーザー登録へ



6) 講演申込の必須入力（選択）項目は下記の通りです。セッション番号，講演題目，著者（所属），発表者氏名，発表者氏名（ふりがな），発表者氏名（ローマ字），発表形式（「口頭またはポスター」または「ポスター」）。

7) 学生優秀発表賞の審査について，「審査を受けることを希望する」「希望しないまたは対象外」のいずれかを選択してください。

8) 準備しておいた予稿ファイル（PDF，1ページ，1MBまで）をアップロードして下さい。

9) 別のウィンドウで予稿ファイルが表示されます。表示内容を確認してウィンドウを閉じて下さい。

10) 講演申込・決済が完了すると，その旨を E-mail でお知らせします。

3. システムに関する問い合わせ先

申込やファイルのアップロードがうまくいかない時は，詳しい症状（ブラウザのバージョン，OS 等も）を記述したメールを web-system@tokyo.email.ne.jp にお送り下さい。

担当者からその対策について返信します。この場合、回答に少し時間を要することを予めご承知下さい。

4. 注意事項

1) 入力された情報がそのままプログラムに掲載されますので、以下の注意を厳守して下さい。

- ・ 講演題目は全角文字 60 字以内（英語題目は半角 120 字以内）で記述して下さい。
- ・ 著者の所属はなるべく 7 文字以内に記述して下さい（英語所属名もできるだけ略称で）。

例：東京大学地震研究所

→ 東大地震研, ERI

京都大学大学院理学研究科

→ 京大理, Kyoto Univ.

防災科学技術研究所

→ 防災科研, NIED

- ・ 著者を複数名記述する時は [・]（英語は[,]）で並べて下さい。同一機関に属する人が 2 名以上続く場合は最後の人の後に所属機関名を入れて下さい。また、発表者の前に記号 [#] を入れて下さい。

例：X 大学 A 研究所の地震太郎，地震花子，Y 大学理学部の地震次郎が著者の場合
#地震太郎・地震花子（X 大 A 研）・地震次郎（Y 大理）

#Taro Zisin, Hanako Zisin（X Univ.）, Jiro Zisin（Y Univ.）

- ・ 予稿本文は、英語または日本語で書いて下さい。
- ・ 予稿は PDF 形式（1MB 以内），A4 横書き 1 ページ以内で作成してください。
- ・ 予稿本文は 2 段組みで、間には余白が必要です。上部の余白は 25 mm，左右及び下部の余白は 15 mm にしてください。
- ・ 投稿・参加申込みサイト（<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>）に予稿テンプレートを掲載します。

2) システムに登録する E-mail アドレスは半角英数字で記述して下さい。このアドレスに申込受付受理メールが返信されますので、誤りの無いように記述して下さい。

3) 予稿ファイルは申込完了後、締切日まではシステムを通して差し替えが可能です。講演申込の内容変更および取消もシステムを通して受け付けますので、メール等での変更依頼はご遠慮下さい。なお、決済完了後は、講演申込を取り消されても、投稿料の返金はできません。

4) 講演申込締切日時までに、決済を完了してください。未決済の場合、講演申込は無効となります。

5) 講演申込締切日時を過ぎますと、投稿の「変更・取消」はできません。また、大会投稿規則で定められた場合を除き、投稿料の返金はできません。あらかじめ、ご了承ください。

6) クレジットカード以外でお支払い希望の際には、まで、メールにてお問い合わせください。この場合、回答に少し時間を要することを、あらかじめご承知下さい。

7) 投稿に関する注意事項等は随時、日本地震学会秋季大会ホームページに掲載しますので、投稿時に必ず確認して下さい。

The diagram illustrates the layout of an abstract template. It features a central white area with a grey border. At the top, a double-headed arrow indicates a 25mm top margin. At the bottom, a double-headed arrow indicates a 15mm bottom margin. On the left side, a double-headed arrow indicates a 15mm left margin. The central area contains the following text:

地震学会予稿フォーマットテンプレート
#地震太郎・地震花子(X大A)・地震次郎(気象研)

Abstract Template for SSJ Fall Meeting
#Taro Zisin, Hanako Zisin (X Univ.), Jiro Zisin (MRI)

English abstract is here. 英文要旨をつける場合は、ここに書いて下さい。
English abstract is here. 英文要旨をつける場合は、ここに書いて下さい。
English abstract is here. 英文要旨をつける場合は、ここに書いて下さい。
English abstract is here. 英文要旨をつける場合は、ここに書いて下さい。

これは、地震学会予稿フォーマットのテンプレートです。入力された情報がそのままプログラムに掲載されますので、以下の注意を厳守して下さい。

- ・講演題目は全角文字60字以内(英語題目は半角120字以内)で記述して下さい。
- ・著者の所属はなるべく7文字以内に記述して下さい(英語所属名もできるだけ略称で)。

【例】

- 大学△学部 → ○○大△
- 研究所 → ○○研
- センター → ○○セ
- 東京大学地震研究所 → 東大地震研, ERI
- 京都大学大学院理学研究科 → 京大理, Kyoto Univ.
- 気象研究所 → 気象研, MRI
- 防災科学技術研究所 → 防災科研, NIED
- 海洋研究開発機構 → JAMSTEC

・著者を複数名記述する時は、日本語の場合[・], 英語の場合[,]で並べて下さい。同一機関に属する人が2名以上続く場合は最後の人の後ろのみ所属機関名を入れて下さい。また、発表者の前に記号[#]を入れて下さい。

【例】 X大A研究所の地震太郎, 地震花子, Y 大学理学部の地震次郎が著者の場合
#地震太郎・地震花子(X大A研)・地震次郎(Y大理)
#Taro Zisin, Hanako Zisin (X Univ.), Jiro Zisin (Y Univ.)

On the right side of the template, there are four bullet points:

- ・予稿本文は、英語または日本語で書いて下さい。
- ・予稿はPDF形式(1MB以内), A4横書き, 1ページで作成して下さい。
- ・予稿本文は2段組みで、間には余白が必要です。上部の余白は25mm, 左右及び下部の余白は15mmにしてください。
- ・縮小印刷しますので、文字サイズは10ポイント以上にしてください。

Below these points is a large empty rectangular box labeled "図1 キャプション".

事前参加登録方法

1. 事前参加登録

投稿・参加申込みサイトからオンラインシステムにアクセスして事前参加登録を行ってください。

<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>

受付期間：9月5日（水）正午（JST）まで

2. 登録の方法

事前参加登録は、講演申込と同じオンラインシステムを利用して行います。事前参加登録料のお支払い手続きも同じシステムを利用して行います。

2009年度以降、システムを用いて講演申込をされた方は、その際に利用したID（登録E-mailアドレス）とパスワードで事前参加登録・お支払い手続きが出来ます。それ以外の方は、新規ユーザー登録を行ってください。

新規ユーザー登録に必須の入力項目は、氏名、氏名（ローマ字）、所属、郵便番号、住所、E-mailアドレス、電話番号、会員区分です。登録されたE-mailアドレスにパスワードが送られます。講演申込等を行う場合は、同じID（登録E-mailアドレス）とパスワードをお使い下さい。

パスワードを忘れた場合には、ログイン画面の「パスワード問い合わせ」ボタンからお問い合わせください。

事前参加登録料は、原則としてシステムを利用したクレジットカードでのお支払をお願い致します。

（手順）

- 1) WEBブラウザを立ち上げ、上記のサイトに接続して下さい。
- 2) 表示されたページの説明をよく確認して下さい。
- 3) 表示されたページの「事前参加登録・講演申込WEBシステム」をクリックして下さい。
- 4) 事前参加申込手続きの流れは以下の通りです。ブラウザの「戻る」等は用いず、システム内に用意されたボタンをお使い下さい。
- 5)

ログイン画面→新規ユーザー登録へ

↓

ユーザー情報入力 → 情報確認 →

登録完了 → メニュー画面へ

↓

メニュー画面→事前参加登録

↓

申込情報入力→情報確認

↓

事前参加登録完了

↓

メニュー画面→決済

↓

お支払い手続き

↓

決済完了

6) 事前参加登録・決済が完了すると、その旨を E-mail でお知らせします。

3. システムに関する問い合わせ先

事前参加登録がうまくいかない時は、詳しい症状（ブラウザのバージョン、OS 等も）を記述したメールを [web-system\(at\)tokyo.email.ne.jp](mailto:web-system(at)tokyo.email.ne.jp) にお送り下さい。担当者からその対策について返信します。この場合、回答に少し時間を要することを予めご承知下さい。

4. 注意事項

- ・ 事前参加登録の締切日時までに決済を完了してください。未決済の場合、登録は無効となります。
- ・ 決済完了後は、参加登録料の返金はできません。あらかじめ、ご了承ください。
- ・ 事前参加登録して頂いた会員には、予稿集ダウンロードのための URL とパスワードがプログラム公開と同時期に連絡されます。事前参加登録締切までに年会費を納入済みの方には、名札、領収証も事前に送付されます。事前に郵送された領収証の様式に問題がある場合には、必ず郵送された領収証を持参の上、受付までお越しく下さい。
- ・ 参加登録料に懇親会費は含まれません。
- ・ クレジットカード以外でのお支払いを希望の際には、[web-system\(at\)tokyo.email.ne.jp](mailto:web-system(at)tokyo.email.ne.jp) にメールにてお問い合わせください。この場合、回答に少し時間を要することを、あらかじめご承知下さい。
- ・ 賛助会員・非会員の方は、会場での当日参加登録のみです。